

市民協働課で交付決定した事業(令和3年度)

No.	団体名	事業名	事業概要
1	新潟県建築士会新潟支部 新潟福祉まちづくり研究会	誰もが生きやすい地域づくりを目指して	・高齢者, 障がい者, 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる, そのヒントとなる勉強会を開催し, その後参加者で意見交換を行う。
2	特定非営利活動法人は一もに一プロジェクト	コロナ禍での新たな学校保健歯科指導の構築	コロナ禍での新たな歯科保健指導のあり方として, 個々で楽しみながら学習できるタブレット端末を用いた学習支援を見出し, モデル校で実施する。

## 事業報告書

(1) 事業名	誰もが生きやすい地域づくりを目指して！
(2) 事業の実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月18日
(3) 事業の実施内容	
<p>第1回</p> <p>○岩室リハビリテーション病院、医療相談員岡本美紗子氏から『いつもの家で暮らすということ』というテーマで講演をしていただいた。</p> <p>○横田医師や斎川氏を交えて参加者全員による意見交換会を行った。</p> <p>日 時：令和3年4月17日（土）14：30～16：30</p> <p>場 所：新潟ユニゾンプラザ 大会議室 ※リモート併用開催</p> <p>参加人数：54人</p> <p>医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、社会福祉士 建築士、福祉住環境コーディネーター、一般市民</p> <p>第2回</p> <p>○1部、ケアプランセンター春、ケアマネジャー切替敦子氏から『お家で介護が必要になったらどうする？』というテーマで講演をしていただいた。</p> <p>○2部、さくらメディカル、竹林ゆきの氏から、『福祉用具ってどんなものがあるの？』というテーマで講演をしていただいた。</p> <p>○3部、事例紹介として福祉用具、住宅改修を实践してオレンジスマイル合同会社、阿部氏、鎌田氏から話していただいた後、横田医師や斎川氏を交えて参加者全員による意見交換会を行った。</p> <p>日 時：令和4年3月5日（土）14：00～17：00</p> <p>場 所：新潟県建築士会事務局 会議室 ※リモート開催</p> <p>参加人数：51人</p> <p>医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、社会福祉士 建築士、福祉住環境コーディネーター、一般市民</p> <p>コロナウイルスによる感染症拡大防止を考慮して、日程を組み直したため、2回目は当初予定の10月開催から、3月の開催となり、実施期間に変更が生じた。</p>	
(4) 事業による成果及び今後の課題	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢になっても障がいがあっても、住み慣れた我が家（地域）で暮らすためには、どのようなことが必要なのか、何が大切なのかを考えることができた。</li> <li>・それには医療業界、福祉介護業界、建築業界の連携が重要であることが分かった。</li> <li>・異業種間の意見交換会では、「介護する人も介護される人もハッピーな社会を目指すことを参加者全体で認識できた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような講演会、勉強会は「継続」することが重要だと感じた。</li> <li>・コロナ禍で集まることは難しいが、今後も工夫して続けて行きたい。</li> <li>・市民が住宅改修等で困ったときの相談窓口を設置したい。</li> </ul>	



# 収 支 決 算 書

## Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	「事業収入等」の 充当先	摘 要
報償費	60,000	66,738		4/17 講師謝礼 @30,000円 商品券 3,000円 / 振込手数料330円 [デネター・情報提供者/謝礼 @5,568円×6人
報償費	120,000	46,136		3/5 講師謝礼(商品券) 20,000円 講師謝礼(商品券) 10,000円 講師謝礼(商品券) 5,000円 [デネター @5,568×2人
会場費	79,680	58,840		4/17 新潟エグザナ 56,140円 3/5 建築士会事務室 2,700円 ※補助対象 18,890円
印刷代	54,600	27,862		資料印刷費 4/17 23,351円 3/5 4,511円 ※補助対象 25,807円
食糧費	20,000	2,182		講師用ペットボトル 4/17 1,762円 / 3/5 420円 /
食糧費	2,000	0		
消耗品	2,000	0		ゴミ袋、筆記用具
感染症対策消耗品	24,000	22,780		アクリル板 @2,278×10セット
合 計	362,280	224,538		補助対象額 182,533円

①補助対象経費の総額	182,533円
②感染症対策消耗品補助額 補助率10/10, ※限度額設定あり	20,000円
③通常活動補助額 (①-②)×補助率 ※限度額設定あり	162,533円
④補助金交付決定額 ②+③(千円未満切り捨て)	120,000円

- 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。
- 補助金収入以外に、参加費等の事業収入又は寄附金等の収入（「事業収入等」）がある事業を実施する場合は、「事業収入等」を充当する「「事業収入等」の充当先」欄に「○」を記載してください。

(1) 事業名	コロナ禍での新たな学校歯科保健指導の構築
(2) 事業の実施期間	令和3年11月12日 ～ 令和4年2月28日
<p>3) 事業の実施内容</p> <p>学童期は、口腔保健における基本となる生活習慣を身につける重要な時期である。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響下（コロナ禍）では、従来から広く実施されてきた対面での染め出し剤を用いた歯磨き指導などの歯科保健指導は困難になった。コロナ禍での新たな歯科保健指導のあり方として、タブレット端末を用いた方法が有効であると考えた。また、個々で楽しみながら学習できるコンテンツにすることで、一過性になりやすい学校歯科保健教育の効果を継続的なものにすることができると考えた。今年度から歯科保健教育モデル校となる新潟市立岩室小学校でモデルケースを実施しタブレットを使用した歯科保健指導を実施した。</p> <p>日時：令和4年1月20日 10:40-11:25、および1月21日 10:40-11:25          場所：新潟市立岩室小学校          参加者：小学校1年生19人（1月20日）、小学校2年生24人（1月21日）          実施内容は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) あいさつ</li> <li>(2) 動画（10分前後）：葭原</li> <li>(3) クイズ（15分）：幡本</li> <li>(4) タブレットを使用した保健学習（10～15分）：葭原              ＊Ｑスキャンによる歯垢確認も含む</li> <li>(5) まとめ（5分）              ＊アンケートを含む</li> </ol> <p>【事業の評価】          本事業に参加した児童（1年生18人および2年生24人）にアンケート調査を実施した。項目は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このじゅぎょうは ためになりましたか？○でかこんでください。              ① はい                      ② いいえ                      ③ どちらでもない</li> <li>2. これから 歯 を よくみがこうとおもいましたか？○でかこんでください。              ① はい                      ② いいえ                      ③ どちらでもない</li> <li>3. これから フッカぶつせん口 を きちんとしようとおもいましたか？○でかこんでください。              ① はい                      ② いいえ                      ③ どちらでもない</li> <li>4. これから おやつのおつかいを 気をつけようとおもいましたか？○でかこんでください。              ① はい                      ② いいえ                      ③ どちらでもない</li> </ol> <p>全ての項目において「はい（100%）」と回答していた。タブレットや動画、歯垢検知器等を用いた保健指導により、児童の口腔保健の必要性に対する意識が変化するとともに、行動変容に良い影響を及ぼしたと考えられた。</p> <p>【事業準備、今後の進め方等についての打ち合わせ実施日】          令和3年11月8日 実施プログラム打ち合わせ（葭原、検討スタッフ）          令和3年12月1日 実施プログラム打ち合わせ（葭原、検討スタッフ）          令和3年12月8日 実施プログラム打ち合わせ（葭原、検討スタッフ）          令和3年12月20日 実施プログラム打ち合わせ（葭原、検討スタッフ）          令和3年12月22日 岩室小学校で事前打ち合わせと予行練習（葭原、幡本）          令和4年2月10日、14日 岩室小学校村山養護教諭と事後打ち合わせ（葭原、村山）          令和4年2月28日 西蒲区役所保健福祉課から本活動について助言をいただく（葭原、幡本）</p>	

(4) 事業による成果及び今後の課題

アンケート結果からみると、児童への教育効果は一定程度あったと評価できる。保健指導のメニューについては感染対策に配慮した内容となっており、コロナ禍でも十分実施可能と評価した。ただ、使用した保健指導用の資料が若干一部児童にとってレベルが高かったとの評価であり、導入方法に配慮が必要であった。改めて現場職員の意見を伺いながらバージョンアップしたものを作成していく必要があるだろう。また、他学年版、特に高学年向けのプログラムの構築も必要と考える。

今後の市内他校への普及に関しては区役所、または教育委員会と相談を踏まえ、保健指導の申し込み方法の構築を検討していきたい。



